



制作：名城大学薬学部 病態解析学
I・Eプロ（佐治凜帆、野口健、鎌田
朋見、鈴木千晴、野田幸裕）、衛生化
学・Eプロ（河西初音）
監修：NPO J-DO



令和元年10月27日（日）パティオ池鯉鮒（知立市文化会館）
講義室（2階）にて

「くすりとの上手な付き合い方：家族を対象としたくすりの正しい飲み方」
「くすり教室：実験講座」の出前授業・Eプロを開催：特定非営利活動法人
医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）と共催



名城大学薬学部では出前講義や講演会として、小学生から高齢者までの幅広い年
齢層に「くすり」のことを知ってもらう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬
品適正使用推進機構（NPO J-DO）の協力の下に行っています。今年度は名城大学
Enjoy Learning プロジェクト（通称：Eプロ）の薬学生と共に行っています。



株式会社 FUJI FUJI 健康保険組合 船越様、宮下様のご尽力により、令和元年
10月27日（日）、知立市文化会館にて「くすりとの上手な付き合い方：家族を対
象としたくすりの正しい飲み方」「くすり教室：実験講座」を下記の内容にて開催し
ました。当日は、大人23名、子供10名が「くすり」について学び、「実験が楽し
かった」「気づきにくいくすりの副作用について知れてよかった」「薬に対する不安
が減った」と大好評でした。今年度のEプロとしては3回目の開催となりました。



パティオ池鯉鮒における「くすり教室」

日時：令和元年10月27日（日） 13時00分～14時30分
場所：パティオ池鯉鮒（知立市文化会館） 講義室（2階）

本学部 野田幸裕教授（NPO J-DO 副理事長）がどのようにくすりを飲んだら適切
に効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A方式の参加型形式でスライドや動画
を使ってわかりやすく説明しました。参加者は問いかけに積極的に答えてくれまし
た。体験実験では、内容をより理解できるように、参加者は6グループ（1グル
ープ4～7名）に分かれ、薬学生（病態解析学Ⅰ5年生2名、4年生5名、衛生化
学研究室5年生1名、4年生1名）が補助しながら、体験実験を行いました。特
に、「薬の使い方」「薬と飲食物の関係」「おくすり手帳の重要性」については非常
に熱心に聞いていただきました。大人も子供も、動画や体験実験から視覚的に理解が
深められ、とても役に立った、楽しかったと好評でした。



内容：

・薬にまつわる疑問

① 車の運転を控えた方が良い薬は？ ②正しく服用されない飲み残しの薬は？ ③薬を他の人にあげても良い？

・薬の使い方

① 点眼薬 ②湿布薬

・薬の正しい服用方法：体験実験

①薬の溶ける工夫（飲みやすさ）

実験1：コップ一杯の水かぬるま湯で薬を飲むのはなぜ？ 実験2：口の中に入れると簡単に溶ける薬

① 薬と飲食物との関係（相互作用）

実験3：薬をお茶で飲んでよいでしょうか？ 実験4：「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうなる？

・その他：命を守るおくすり手帳